

2025 年 1 月 23 日

「レイミーの AI 病虫害雑草診断」アプリが JA 全農の営農管理システム「Z-GIS」と連携、 2025 年 4 月より新たなソリューションを展開

日本農薬株式会社（以下、「当社」）は、2020年4月より配信しておりますスマートフォン用アプリケーション「レイミーのAI病虫害雑草診断」（以下、「レイミー」）と、JA全農が提供する営農管理システム「Z-GIS」をシステム連携^(注1)させ、地域の農業データが簡単に記録、可視化できる新たなソリューションを2025年4月より提供^(注2)^(注3)します。この連携により、病虫害や雑草の対策や農作業を効率的な記録が実現し、農業現場での課題把握が飛躍的に向上することが期待されます。

当社は、今後も本アプリの機能拡充や社外パートナーとの連携も強化し、スマート農業を通じて生産者の利便性を向上させるソリューションの開発に取り組んでまいります。

(注1) 2025 年 3 月にレイミーに新たに搭載する記録機能と Z-GIS をシステム連携させるものです。

(注2) 「レイミー」ユーザーは無料でご使用いただけます。但し、「Z-GIS」ユーザーが「レイミー」の記録機能を用いたサービスを利用する場合、利用料金が発生します。

(注3) 2024年4月よりベータ版としてリリースしてきた「レイミー」の診断データと「Z-GIS」のシステム連携は、本ソリューションの提供と合わせて正式版としてリリースいたします。

(1) 本ソリューションを提供する背景

近年、気候変動や物流の活発化により、地域外からの侵入する病虫害や雑草の発生・拡散が問題化しています。この課題に対応すべく、病虫害や雑草の発生情報をできるだけリアルタイムに把握・管理するニーズが高まっています。

また、農業現場で防除管理を担う普及指導員や JA 指導員の人手不足が深刻化しています。そのような中、パソコンやスマートフォンの操作が苦手な方でも簡単に利用できるツールの必要性が増しています。こうした背景を踏まえ、当社と JA 全農は、誰でも簡単に使えるソリューションを開発すべく、今回の連携を進めてまいりました。

(2) システム連携の内容

地域の農業データ 簡単記録&可視化



【レイミーの記録機能の概要】

「レイミー」には、スマートフォンで撮影した画像に、病虫害や雑草、作業内容をタグ情報と一緒に簡単に記録できる“記録機能”を新たに搭載します。この機能は、スマートフォン操作に不慣れな方でも簡単に使えるように設計されており、位置情報や日時が自動で取得されるため、農業現場でのデータ管理がより手軽になります。（本機能は2025年3月の実装を予定）

【Z-GIS との連携】

「Z-GIS」ユーザーは「レイミー」ユーザーの認証を受けることで、“記録機能”のデータを「Z-GIS」で取得できるようになります。複数ユーザーから取得された記録データは、タグ情報と一緒にZ-GISの地図上に表示できます。これにより、指導員や生産者が地域全体の状況を簡単に把握し、作業や病虫害対策の判断に役立てられます。

※本連携は完全なユーザー承認制です。レイミーユーザーのデータが無断で利用されることはありません。

【主な活用シーン】

- **【病虫害の分布状況の把握】** 圃場の病虫害発生情報がタイムリーに収集され、病虫害の拡散リスクを迅速に評価できます。
- **【簡易な農作業記録と管理】** 圃場で写真を撮るだけで農作業の記録をすることができます。圃場での作業情報が一元的に管理され、農作業の進捗状況を把握しやすくなります。
- **【災害時の迅速な被害の把握】** 霜や大雨などの災害情報も簡単に記録でき、迅速に被害を把握することができます。これによりいち早く効果的な対策の検討が可能になります。



（３）システムの概要

「Z-GIS」は全農が提供する営農管理システムです。高精細な地図上にマウス操作で簡単に圃場ポリゴン（区画情報）が作成でき、そこにユーザーが登録したい情報をエクセル形式で入力し紐づけることで、圃場の位置と営農情報を効率的かつ自由度高く管理できるようになります。「スマート農業のプラットフォーム」としてＪＡグループの担い手サポーターであるＴＡＣを中心に普及活動を展開中です。

「レイミーの AI 病害虫雑草診断」は日本農薬が 2020 年にリリースした、日本農薬と株式会社 NTT データ CCS が共同開発した AI を活用したスマートフォン専用の防除支援ツールです。作物や田畑に発生する病害虫や雑草を写真から診断し、表示された診断結果から利用者が選択した防除対象に有効な防除薬剤の情報を提供します。

（４）お問合せ先

本ソリューションは 2025 年 4 月のサービス開始を目指して開発を進めております。

今回の新機能と連携について、詳細情報やご質問がある方はお気軽にお問い合わせください。さらに詳しい資料のご提供や、導入に関するご相談も承っております。

以上

■レイミーについてのお問い合わせ先

日本農薬株式会社 総務・法務部 総務広報グループ

Tel: 0570-09-1177

■Z-GIS及び本連携の導入についてのお問い合わせ先

全国農業協同組合連合会（JA全農） 耕種総合対策部 スマート農業推進課

Tel: 03-6271-8274

メール: zz_zk_smart@zennoh.or.jp